

時代の変化に適應可能な 保護司制度の検討に向けて

資料 4

ほんどう まさひろ
保護司 本堂 雄大

(新宿区保護司会所属 38歳 不動産賃貸業自営)

28歳のとき、定年が迫った保護司から誘われた。

戸惑ったが「喜んで地域の役に立て」という父の言葉で決断。

多くの刑務所出所者等を担当したが、

「保護観察終了後こそが立ち直りの本当のスタート」。

地域の隣人として見守りを続けている。

時代の変化に適応可能な保護司制度の検討に向けて

保護司 本堂 雄大（ほんどう まさひろ）

1 制度の在り方について

待遇、職務範囲等

2 保護司活動に対する支援について

(1) 保護司活動のデジタル化

保護司専用ホームページH@の機能拡充

タブレット端末の増配置

ウェブ会議を始め、デジタル化に対応した経費の支給

(2) 地方公共団体からの協力確保

自宅以外の面接場所の確保

保護観察期間終了後の支援体制の構築